更新：2025/08/08

次世代エッジAI半導体研究開発事業　2025年度　研究開発提案募集FAQ

No.	カテゴリ	質問内容	回答
1	応募要件	「研究開発代表者」として、本事業へ複数の研究提案を応募することはできますか。	一人の提案者が、研究開発代表者として、複数の研究開発課題を提案することはできません。 詳細は公募要領「4.2 重複応募の制限」をご覧ください。
2	応募要件	「主たる研究分担者」や「研究開発参加者」として、本事業への複数の研究提案に参画できますか。	応募段階において、複数の課題に「主たる研究分担者」や「研究開発参加者」として参加することは妨げません。ただし、選考の結果、複数の研究開発課題に参画することになった場合には、「過度の集中」「不合理な重複」を考慮し、PD・PO の判断により研究開発費を減額する、もしくは参画する研究開発課題を選択する等の調整をすることがあります。 詳細は公募要領「4.2 重複応募の制限」をご覧ください。
3	応募要件	研究開発代表者として、JSTの他事業との重複応募は可能でしょうか。	他事業が重複申請を制限していなければ申請可能です。ただし、ともに採択された場合は、「不合理な重複」及び「過度の集中」の観点から、調整を行う場合があります。また、他事業に採択された場合には速やかに本事業の事務担当に報告してください。この報告に漏れがあった場合、本事業において、採択の決定の取消し等を行う可能性があります。 詳細は公募要領「4.3 不合理な重複・過度の集中に対する措置」をご覧ください。
4	研究開発体制	成果の橋渡し先候補となるような企業を研究開発チーム（研究開発体制）に加えることは可能ですか。 参加の形態としては、実質的な研究開発を行わず、研究開発チームへの企業ニーズのアドバイスなどを想定しています。	研究開発チームは、公募要領「1.3 研究開発課題における体制」に示す通り、JSTと委託研究契約を結び研究開発を実施する研究開発機関およびその研究参加者から構成されます。したがって、検討されているような直接的な研究開発を実施しない参加形態の場合には研究開発チームに加える必要はありません。ただし、成果の橋渡しや社会実装への道筋を明確化する観点で、提案書内で記載いただければと思います。 また、権利化や成果展開等において支障をきたさないよう、情報管理については研究開発課題内に設置する知財運営委員会で適切に取り扱いをお願いします。
5	研究開発体制	研究開発費を配分する予定がない機関も研究開発チームに加えることは可能ですか。	研究開発費を配分する予定がない機関も、研究開発を担う機関であるならば、研究開発チーム(公募要領「1.3 研究開発課題における体制」)に加わることは可能です。なお、その場合もJSTと委託研究契約を締結し、研究開発機関としての責務（公募要領「3.7 研究機関の責務等」)を果たすことが求められます。
6	研究開発体制	研究開発代表者と同一機関に所属するの他の教員が、研究実施項目における主たる研究分担者として参画することは可能でしょうか。	主たる研究分担者は、「当該機関と JST とが締結する委託研究契約等に係る研究開発を中心的に行う者」となっていますので、研究開発実施項目上必要があるならば、参画は可能です。
7	研究開発体制	提案書に記載の「サブグループ」は「主たる研究分担者」の理解でよろしいですか？複数の研究開発項目の主たる研究分担者として参画する場合、JSTと複数の委託契約を結ぶことになるのでしょうか？	はい、ご理解のとおりです。委託研究契約は原則機関ごととしておりますが、項目で分けるかなど詳細は実施計画を策定する中でご相談させていただきます。
8	研究開発体制	チーム体制図に関して、サブグループごとに「主たる研究分担者」が必要ですか	サブグループを代表する方が主たる研究分担者となりますので、必要です。なお、グループ毎に主たる研究分担者を複数人設定することは必須ではありません。
9	研究開発体制	「参加者」として「主たる研究分担者」と異なる研究機関の方が参画することは可能でしょうか？可能な場合、参加者の研究費は主たる研究分担者に配分される研究費から支払うことは可能でしょうか？	ご提案時点では異なる機関の方がグループの中に入った形でも構いません。ただし、機関として適切な資金管理を行っていただく必要がありますので、どういった形で委託研究契約を締結するかは、実施計画を策定する中でご相談させていただきます。

No.	カテゴリ	質問内容	回答
10	**提案書**	応募の際に、所属機関の承諾書などは必要ですか。	必要ありません。ただし、研究開発機関に求められる責務（公募要領「3.7 研究機関の責務等」）が果たせない研究機関における研究実施は認められませんので、応募に際しては、主たる研究分担者も含めて、研究の実施を予定している研究機関の事前承諾を確実に得てください。
11	**提案書**	研究開発期間は2030年度末まで設定してよいでしょうか。提案書様式5の予算計画には2031年3月までと記載があります。	研究開発期間は最大60ヶ月です。60ヶ月以内で研究開発実施計画を検討しご提案ください。予算計画の表はあくまで2030年度として表示したものですので、予算計画も60ヶ月として作成ください。
12	**提案書**	エネルギー削減に関する指標の試算は、どの程度の精度が求められますか。	可能な範囲内で精度の高い試算となるよう、算定の根拠とともに記載ください。
13	**提案書**	自分が応募しないテーマのPOについても利益相反に関する情報を記載する必要はありますか。	応募テーマと異なるテーマのPOについても、記載してください。
14	**提案書**	提案書様式6、8はグループリーダー、サブグループリーダーだけでなくJSTと委託契約を契約するすべての研究分担者に必要でしょうか？	ご理解のとおり、全ての主たる研究分担者について記載をお願いいたします。
15	**提案書**	企業と提案した場合、成果を企業で活用していくときの制限はありますでしょうか？	知財マネジメント基本方針の取り決めに従い、支障のないよう推進ください。また、国費を使った研究であることを鑑み、産業界への橋渡しや社会実装のイメージは明確にしつつも、広く多くの産業界が研究成果を活用されることも期待されます。
16	**提案書**	間接経費について、大学、企業ともに30%で計上して問題ありませんでしょうか。	間接経費は30%で問題ありません。提案書は直接経費で作成をお願いします。
17	**提案書**	開始時期をずらして作成することは可能でしょうか？	提案時点では2025年12月を起点として作成ください。なお、12月中旬開始予定としておりますが、開始時期は予定ですので、多少変更となる可能性がございます。
18	**提案書**	アカデミアと企業の研究開発費比率バランスはどのような程度かの指標などはありますか。	ルールはありませんが、アカデミアを中心とした事業となっていますことを念頭におき、検討ください。なお、予算計画については、PDPOと相談のうえ、作り込みや評価の中で調整する可能性がございます。
19	**提案書**	提案時の参画予定者（具体的な個人）は、採択後に変更可能でしょうか？	研究参加者については変更可能です。ただし、主たる研究分担者については正当な理由がない限りは変更不可ですので、十分に検討のうえ体制を構築してください。

No.	カテゴリ	質問内容	回答
20	**提案書**	大学院生へも研究者として研究費を出せるのですか？	学生を主たる研究分担者とすることはできません。研究開発代表者および主たる共同研究者は、公募要領「3.6 研究開発代表者及び主たる研究分担者の責務」に記載の内容が適切に行える研究者をたててください。
21	**提案書**	2軸のベンチマーク図が求められていますが、こちらは複数の図となっても良いでしょうか。	原則として、1枚のベンチマーク図で自身の提案の価値を表現してください。その上で、補足的な説明資料を提案書に記載することは妨げません。
22	**提案書**	研究開発体制に企業等を含むことはどの程度期待されていますか。	企業等の参画は必須ではありませんが、公募要領「別紙1 公募におけるPDの方針」にも記載のとおり、企業と連携した研究開発体制の構築を期待します。なお、公募要領「2.8 選考の観点」にも記載のとおり、統合的な研究開発を行うための実施体制や、成果の産業界への橋渡しのシナリオの観点等も評価の観点に含まれますので、ご留意ください。
23	**提案内容**	テーマ①について、AI回路だけでなく、その周辺回路に関する研究開発も提案に含めることは可能ですか。	可能です。ただし、本テーマはエッジ向けのAI回路・システムの実現を目的としているため、周辺回路等のみの研究を実施する提案は対象外となります。
24	**提案内容**	テーマ②について、光電融合は提案可能ですか。	研究開発項目に合致する提案であれば提案可能です。ただし、既存の施策等との重複には十分注意いただき、アカデミアのシーズやアイデアを活用した挑戦的な提案となることを期待します。
25	**提案内容**	複数のテーマにまたがる提案（例えばテーマ①とテーマ②）を行うことは可能でしょうか。	複数のテーマにまたがる提案をしていただいて結構です。その場合、自身の提案の特徴が最も発揮されるテーマを応募時のテーマとして1つ選んでください。
26	**提案内容**	テーマ③「次世代トランジスタ技術」では、シリコン以外の材料、と書かれておりましたが、シリコンに関する技術は、今回は対象外ということでしょうか。	研究開発計画に記載の通り「シリコンに代わるチャネル材料及びチャネル周辺材料、微細配線材料についての研究開発」を中心とした提案を期待します。ただし、新原理トランジスタに関する研究や統合的な研究開発を実施するためにシリコンを用いた材料・プロセス等を研究実施項目に含めることを妨げるものではありません。
27	**提案内容**	処理効率の向上のベースが、王道的な情報処理理論と異なる数学演算体系に基づき、回路構成は既存方式と異なるものの既存のトランジスタ半導体および通信方式のアーキテクチャでも実現でき、同時に、新しいトランジスタおよび新しい通信方式の可能性もあるというような研究も対象となるのでしょうか。	新たなアルゴリズムやアーキテクチャによる次世代エッジAI半導体の開発に該当すると思われますので提案可能です。公募要領「別添1. 研究開発計画」に記載の通り、自動設計関連技術等にもまたがった統合的な研究開発提案も期待しています。
28	**提案内容**	PFASの対応ですが、代替材料の開発の他に、PFAS材料の分解処理などもあると思うのですが、後者は提案内容に入りますでしょうか。	含まれます。公募要領「別紙1 公募におけるPDの方針」に記載している内容はあくまで一例ですので、産業界の課題を広く捉えてご提案を検討ください。
29	**提案内容**	テーマ①に関して「若い研究者や学生の参加を歓迎」とのことですが、例えばJST ACT-Xに応募するように、博士・修士の学生が、指導教員の傘下ではなく、学生が自身のオリジナリティを持って参加することは歓迎されるのでしょうか？	とりわけ設計分野において若い研究者層を厚くすることを重要視し、記載しているものです。したがって、若い研究者や従来の半導体分野を超えた、将来の半導体人材となりうる方々の参加を歓迎しています。ただし、参画いただく場合に、その方々を全体の研究の中で位置づけして、本人もそれを理解していることが必須となります。なお、若手ないし異分野の研究者が早い段階で成果をトップカンファレンスに出すことは求めておりません。人材の裾野を広げるという観点で評価します。

No.	カテゴリ	質問内容	回答
30	**知的財産**	知財及びデータ合意書は、委託研究機関の全員で結ばなければいけませんか。また、知財運営委員会も全員で設置しなければいけませんか。	原則として各研究開発課題の委託研究機関全員での締結をご検討ください。ただし、参加者が多い場合や、研究開発課題内で担当する研究実施項目が多岐にわたる場合などにおいては、事業の実状に応じて、委託研究機関の間で合意の上、締結範囲を適宜変更(研究開発課題の全参加者ではなく、研究開発課題内の研究実施項目ごとの参加者とするなど)して設定することでも問題ありません。その際はJSTにご相談ください。 また、知財運営委員会については、知財及びデータ合意書の締結範囲と同じ参加者単位で設置してください。
31	**知的財産**	知財及びデータ合意書の発効日はいつが適切ですか。	実際に情報交換等を始めた日やJSTとの契約日などが好ましいです。
32	**知的財産**	知財及びデータ合意書の契約締結日はいつが適切ですか。	最終合意者が捺印(または最終サイン者がサイン)した日が正式ですが、全員で事前合意した日付とすることも可能です。
33	**知的財産**	知財及びデータ合意書の有効期間は、事業終了後何年ぐらいが適当ですか。	事業の技術的内容、事業終了後の継続性、先端産業か成熟産業かなどを考慮して、個別に判断してください。
34	**知的財産**	知財及びデータ合意書は、いつまでに締結する必要がありますか。	原則として、JSTとの契約日までに合意書(案)のJSTによる確認が必要です。難しい場合にはJSTまでご相談ください。 なお、委託研究機関が多数の場合は、捺印作業に時間がかかります。合意書「案」では発効日が規定(雛形の「(有効期間及び残存条項)」の条文にて)されますので、JSTとの契約日以降に知財及びデータ合意書の締結が完了してもかまいません。
35	**データ**	データマネジメントプランは委託研究機関ごとに提出するのですか。それとも知財運営委員会を形成するグループごとに提出するのですか	研究開発課題で1つのものとして提出いただきます。
36	**その他**	HPに掲載されている、研究セキュリティに関するアンケートはどのように提出すればよいでしょうか。	申請段階でのご提出は不要です。選考の過程でJSTから提出を求める場合がありますので、その際はご対応をお願いします。
37	**その他**	来年以降も提案募集は予定されていますか。	現時点では未定です。公募要領「別添1. 研究開発計画書」の研究開発内容と、採択課題の研究開発実施計画等を照らし合わせて判断します。
38	**その他**	英語版の公募要領と提案書様式は公開されるのでしょうか。また、提案書を英語で作成してもよいでしょうか。	英語版の公募要領と提案書様式は公開いたしません。提案書は日本語での作成をお願いいたします。
39	**その他**	事業体制図のように、テーマ①②③にそれぞれ4チーム採択されるのか?	体制図はあくまでイメージを示したものであり、本公募の採択予定課題数(＝チーム数)は公募要領「2.4 研究開発費・採択予定課題数」をご参照ください。

No.	カテゴリ	質問内容	回答
40	**その他**	採択後のステージゲート審査は、どのような頻度を想定されていますでしょうか？	課題毎にPDPOとも相談しながら適切な時期を指定することとしておりますので、現時点で断言できませんことご了承ください。
41	**その他**	研究開始12月となっているが、今年度の予算配賦はいつになりそうか。	予算配賦は研究開始後の予定です。
42	**その他**	一次採択審査の結果や、各審査の書類選考で落選となった場合、通知があるのでしょうか？	通知は選考が全て終了次第お送りする予定です。